

令和5年度の重点課題

情意面での課題

- 男子
 - ・運動やスポーツをすることがややきらい、きらいと答える児童の割合が12%である。
(前年比10.61%↑)
- 女子
 - ・運動やスポーツをすることがややきらい、きらいと答える児童の割合が11.42%である。
(前年比5.25%↓)
 - ・ややきらい、きらいと答える男子の割合が女子よりも0.58%多い。

体力面での課題

- 男子
 - ・「握力」、「上体起こし」、「ボール投げ」において、県平均値かつ全国平均値より低い。
- 女子
 - ・「握力」、「上体起こし」、「ボール投げ」、「立ち幅とび」において、県平均値かつ全国平均値より低い。
- 全体
 - ・1日の活動時間が30分未満の児童が20%である。

上記の課題を受けて具体的に取り組んだ事項

○体づくり運動の運動例などを夏季の校内研修を通して校内に周知し、授業の始めなどに取り入れられるようにした。

○児童ができる喜びを実感できるよう、少人数活動やグループ活動を効果的に仕組み、児童が互いに助け合い・励まし合いながら活動できるようにした。

○各学年における体育科の授業の視点や課題を整理して、次の学年につなげていけるようにした。

○体育の宿題(簡単に取り組める運動)を普段から家庭学習として取り組んだ。

○体育委員会が中心となって、グラウンドを整備するなど、児童が運動に親しむことができる環境を整備することにより、外遊びの習慣をつけさせた。

○体育委員会が中心となって、児童が取り組める運動遊びやイベントを企画した。

令和6年度新体力テストの結果 県平均値(令和5年度)・全国平均値(令和4年度)との比較

| 男子 | 握力 | 上体起こし | 長座体前屈 | 反復横とび | 20m シャトルラン | 50m走 | 立ち幅とび | ボール投げ | 体力合計点 | 女子 | 握力 | 上体起こし | 長座体前屈 | 反復横とび | 20m シャトルラン | 50m走 | 立ち幅とび | ボール投げ | 体力合計点 |
|------|-------|-------|-------|-------|------------|------|--------|-------|-------|------|-------|-------|-------|-------|------------|------|--------|-------|-------|
| 第5学年 | 15.78 | 19.14 | 35.32 | 39.60 | 41.05 | 9.45 | 157.57 | 17.83 | 51.92 | 第5学年 | 17.31 | 19.86 | 38.94 | 38.86 | 32.29 | 9.64 | 148.94 | 12.94 | 55.54 |

県平均値かつ全国平均値未満

令和6年度新体力テストの結果 県平均値(令和6年度)・全国平均値(令和5年度)との比較

県の調査結果が公表された後、データ入力シートに最新の県平均値（R 6）及び全国平均値（R 5）を記入し、比較を行います。

| 男子 | 好き | やや好き | やや嫌い | 嫌い | 女子 | 好き | やや好き | やや嫌い | 嫌い |
|------|-------|-------|------|------|------|-------|-------|------|------|
| 第5学年 | 69.23 | 19.23 | 7.69 | 3.85 | 第5学年 | 65.22 | 26.09 | 4.35 | 4.35 |

重点課題

情意面での課題

- 男子
 - ・運動をすることがややきらい、きらいと答える児童の割合が11.54%である。
(前年比0.46%↓)
- 女子
 - ・運動をすることがややきらい、きらいと答える児童の割合が8.7%である。
(前年比2.72%↓)

体力面での課題

- 男子
 - ・長座体前屈」「立ち幅とび」以外の種目において、県平均値かつ全国平均値より低い。
- 女子
 - ・握力」「上体起こし」「長座体前屈」「立ち幅とび」以外の種目において、県平均値かつ全国平均値より低い。
- 全体
 - ・反復横跳び」「20mシャトルラン」「50m走」「ボール投げ」については、共通の課題である。
 - ・1日の活動時間が30分未満の児童が26%である。

令和7年度の重点目標値

○運動やスポーツをすることがややきらい、きらいと答える児童の割合を、**男女ともに10%未満**にする。

○男女共通の課題である、「反復横跳び」「20mシャトルラン」「50m走」「ボール投げ」を県平均値かつ全国平均値以上にする。

○1日の活動の時間が30分未満の児童を**20%未満**にする。

重点課題に対応した改善する取組内容及び方法

体育の授業で行う取組内容

- ACP(アクティブチャイルドプログラム)研修を通して校内に周知し、授業の始めなどに取り入れられるようにする。
- 児童ができる喜びを実感できるよう、主運動のコツの具体的な提示を行う。
- 児童が伸びを実感できるように、記録を数値化し、提示する。
- 保健体育部の部会で、各学年の取組について、交流する。

体育の授業以外で行う取組内容

- 体育の宿題(簡単に取り組める運動)を普段から家庭学習として取り組ませる。
- 体育委員会が中心となって、ボールの空気入れやグラウンドの整備など、児童が運動に親しむことができる環境を整備する。
- 体育委員会が中心となって、児童が取り組める運動遊びやイベントを企画し、外遊びの機会を増やせるようにする。